

航空事故調査の経過報告について

平成17年11月25日

国土交通省 航空・鉄道事故調査委員会

平成16年9月14日(火) 厚木飛行場で発生した、朝日航洋株式会社所属マクドネル・ダグラス式MD900型JA6757の航空事故について、鋭意調査を進めているところである。事故現場における調査は終了しているが、以下の理由により、最終的に報告書を取りまとめるまでに、なお時間を要すると見込まれる。

- (1) 事故機の重要な装備品であるノーター・ファンの調査を米国で実施中であり、その結果が出るまでになお時間を要すること
- (2) 国際民間航空条約に基づき本事故調査参加国(米国)に意見照会を行い、その回答が来るまでに時間を要すること

しかしながら、同様の事象の発生防止の観点から、本事故の概要及び本事故調査の経過を報告し、公表することとした。

なお、本経過報告の内容については、今後更に新しい情報や状況が判明した場合、変更することがあり得る。

朝日航洋株式会社所属マクドネル・ダグラス式MD900型
JA6757に係る航空事故調査について
(経過報告)

1. 航空事故の概要

- (1) 発生場所 厚木飛行場
- (2) 発生日時 平成16年9月14日 11時21分ごろ
- (3) 運航者 朝日航洋株式会社(以下「同社」という。)
- (4) 航空機 型式 マクドネル・ダグラス式MD900型
国籍及び登録記号 JA6757(以下「同機」という。)
製造年月日 平成7年5月24日
- (5) 運航目的 移動
- (6) 出発地/目的地 静岡ヘリポート/東京ヘリポート
- (7) 搭乗者数 乗員2名
- (8) 死傷者数 軽傷2名
- (9) 航空機的主要損傷状況
- | | |
|---------------|----|
| 胴体及びテール・ブーム | 破損 |
| スキッド | 破損 |
| メイン・ローター・ブレード | 破損 |
| ローター・ファン | 破損 |
- (10) 運航乗務員
- 機長 男性 50歳
- 技能証明 事業用操縦士技能証明書(回転翼航空機)
昭和52年12月16日
- 限定事項 陸上多発タービン機
- 第1種航空身体検査証明書
- 有効期限 平成17年5月19日
- 総飛行時間 9,512時間34分
- 最近30日間の飛行時間 28時間27分
- (11) 航空事故の概要
- 同社所属マクドネル・ダグラス式MD900型JA6757(回転翼航空機)は、平成16年9月14日(火)、移動のため、東京ヘリポートへ向け飛行中、10時07分ごろ、藤沢上空でペダルによる方向の操縦ができなくなり、その後2エンジンが停止したため、11時21分ごろ、神奈川県綾瀬市厚木飛行場に

不時着を試みたが、同飛行場内の西側エプロン上に着陸した。

同機には、機長ほか整備士 1 名計 2 名が搭乗していたが、2 名とも軽傷を負った。

同機は大破したが、火災は発生しなかった。

2. 事故調査の概要

航空・鉄道事故調査委員会は、平成 16 年 9 月 14 日、本事故の調査を担当する
主管調査官ほか 1 名の航空事故調査官を指名した。

本調査には、事故機の設計・製造国である米国の代表が参加した。

現時点までの主な調査事項は、以下のとおりである。

- (1) 現場調査及び機体調査
- (2) 関係者からの口述聴取
- (3) 同機の整備作業状況等の調査
- (4) 米国国家運輸安全委員会（NTSB）への依頼によるローター・ファン詳細調査

3. 参考事項

本事故においては、ローター・ファンの構成部品であるテンション・トーション・ストラップの 1 本とドライブシャフト等が破断していることが確認された。

本事故を受け、国土交通省航空局は、平成 17 年 5 月 6 日、耐空性改善通報により、特定の部品番号のテンション・トーション・ストラップ限界使用時間を短縮するとともに、取りおろした際の検査方法について指示をした。